

PRINCE
TOMOHIITO
MEMORIAL
WORLD GRAND PRIX



東日本大震災復興支援

第12回 寛仁親王記念ワールドグランプリ国際自転車競技大会ロードレースラウンド

2024年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ最終戦

第19回 明治神宮外苑大学クリテリウム

19th MEIJI-JINGU OUTER GARDEN UNIVERSITY CRITERIUM

明治神宮外苑 聖徳記念絵画館前 10:50開始15:00表彰式

2025年2月23日(日)

主催 **日本学生自転車競技連盟**

JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION



インターネットライブ動画

<https://www.youtube.com/@jicf7330>



ウェブサイト

大会特設 <https://princetomohito-memorial-wgp.com/>

外苑クリテ過去大会アーカイブ <https://gaiencriterium.tokyo/>

日本学生自転車競技連盟:競技結果 <https://jicf.info/>

競技速報 instagram

https://www.instagram.com/gakuren_2024/



明治神宮外苑・聖徳記念絵画館前

外苑
CRITERIUM
CYCLE ROAD RACE



Innovation & Action

INDAC

NICHINAO



PEARL IZUMI



ユニバーサル・フィナンシャル
UNIVERSAL FINANCIAL

セカイの、
ミライの、
イノアック。

セイノさん



イノアックくん



第19回明治神宮外苑大学クリテリウムに寄せて

Compliment to Meiji-Jingu Outer Garden University Criterium

大会会長・日本学生自転車競技連盟会長
村岡 功President of the Japan Intercollegiate Cycling Federation
Isao MURAOKA

本日、ここに第19回 明治神宮外苑大学クリテリウムを開催できますことに感謝申し上げます。

ご承知の通り、自転車競技では一定のリスクを伴いますが、そのリスク低減には大会運営関係者のみならず、選手・チーム関係者の皆様の日常的な研鑽が必要不可欠です。本連盟においては近年、一定の講習会や実技研修会への事前参加を大会参加にあたっての必須要件とさせて戴いておりますが、最低要件をぎりぎり満たして良しとするのではなく、不断の研鑽を積み重ねてこの舞台を迎える心構えで、今日此処に来て戴いていることを期待しております。

落車や怪我への対策だけではなく、スポーツとしての高潔性維持に向けたアンチドーピングに対する意識も重要な要素です。ドーピングにおいて古くからの歴史があると言われる自転車競技であるからこそ、我々は大会時とともに日常生活においても、ドーピングに対しては注意深く行動することが求められています。そこで本年の大会前日には、「クリーン・サイクリング」をテーマとしたフォーラムを開催することと致しましたが、このフォーラムが加盟チームの皆様のアンチドーピング活動をより高度なものにするきっかけとなることを期待しております。

前回大会の際にも申し上げたところですが、リスクを下げ安全性を高める方策として、「これだけを行っていただければ大丈夫」というような特効薬はないと思われまふ。競技に関わる全ての皆様がそれぞれの立場で安全に対する意識と知識を高め、原則に立ち返って粛々となすべきことを確実に実施していくことが重要であると考えています。

前回より、適正規模を模索しながら大会を実施するとともに、長年にわたり交流してききましたメルボルン大学などの海外チームの招聘も見送ることとさせて戴きました。参加条件の厳格化などによりレース参加機会を失ってしまうという方も居られますが、競技の総合的な安全性向上のためにご理解戴ければと存じます。

皆様のご協力のもと本大会を無事開催することが出来ました。第19回大会の開催に際し、多大なるご尽力・ご助力を賜りました明治神宮外苑、新宿区、四谷警察署、四谷消防署、東京都自転車競技連盟、日本自転車競技連盟をはじめとする多くの諸団体、競技役員や警備・設営・運営関係者の皆様、また本大会にご賛同戴き多大なるご支援を賜りました協賛各社の皆様に対して、重ねて深甚なる感謝の意を表し、ご挨拶とさせていただきます。

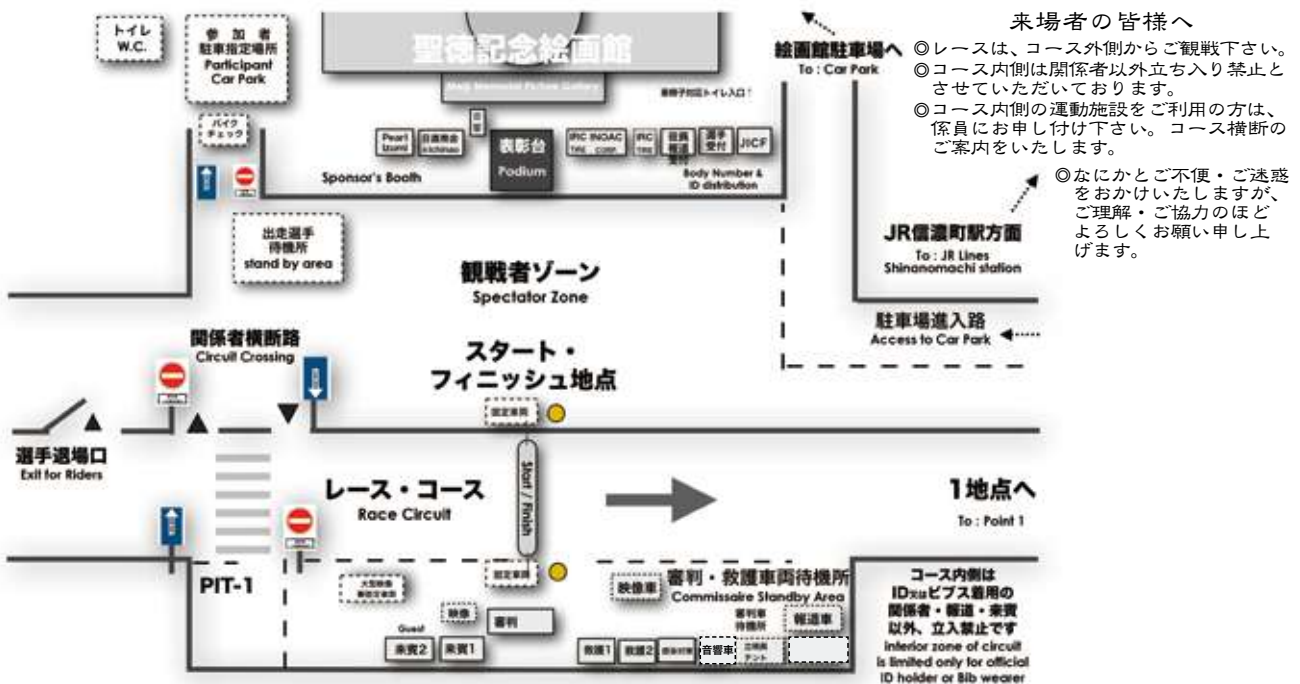
式 次 第 / CEREMONY PROTOCOL

開 会 式	12時00分より 絵画館前にて (一部の役員・選手のみ整列します。場内アナウンスをお聞きください)
開会宣言	江 澤 翼 日本学生自転車競技連盟 新学生委員長
主催者挨拶	村 岡 功 日本学生自転車競技連盟 会長
RCS門田杯返還	小 泉 響 貴 前年度 RCS 総合リーダー / 明治大学
選手宣誓	並 江 優 作 前年度大学対抗最上位校 / 鹿屋体育大学代表
表 彰 式 (午前部)	開会式に引き続いて 絵画館前にて (表彰対象の選手のみお集まり下さい。場内アナウンスをお聞きください)
表 彰	男子大学生グループ3A, 3B 小・中学生タイムトライアル
表 彰 式 (午後部)・閉 会 式	15時00分より 絵画館前にて (表彰対象の選手のみお集まり下さい。場内アナウンスをお聞きください)
表 彰	男子大学生グループ2 女子クリテリウム 男子大学生グループ1 (大学対抗) 大学対抗チーム優勝杯贈呈 全日本学生ロードレースカップシリーズ総合表彰
歓送のことば	井 関 康 正 日本学生自転車競技連盟 副会長
閉会宣言	松 倉 信 裕 日本学生自転車競技連盟 理事長

時 程 表 / TIME TABLE

2月20日(木) 20:00 21:00	チーム代表者・供出立哨役員チーム責任者打合 設営・競技役員打合	20th Feb (Thu) Team manager & Marshalls meeting Commissaires meeting
2月22日(土) 14:30-17:00	第15回 大学自転車競技フォーラム東京 「サイクリング インテグリティ -クリーンサイクリング-」 於：新宿区霞ヶ丘町ジャパンスポーツオリムピックスクエア会議室	22nd Feb (Sat) University Cycling Forum Tokyo #15
2月23日(日) 6:00 7:30 9:00 9:00-11:30 10:00 10:50 11:10 11:40 12:00 13:00 13:25 14:00 15:00 17:00	会場設営開始 競技役員・立哨役員集合打合わせ 交通規制開始 参加選手受付・ゼッケン配布 メディアミーティング オープン&ウォームアップ・ライド 1.5km × 5 laps = 7.5km 男子大学生 グループ3 A組 男子大学生 グループ3 B組 1.5km × 4 laps = 6km タイムトライアル (小・中学生) 1.5km × 1 lap = 1.5km 開会式・表彰式(午前部) / 絵画館前 立哨役員昼食(コース閉鎖・試走不可) 男子大学生 グループ2 1.5km × 8 laps = 12km 女子(学連登録選手+JCF登録競技者) 1.5km × 8 laps = 12km 男子大学生 グループ1 (大学対抗) 1.5km × 20 laps = 30km 表彰式・閉会式(午後部、大学対抗・シリーズ総合) 規制解除 (予定:早まる場合があります)	23rd Feb (Sun) Course installation Commissaires & Marshalls meeting Public traffic control Start Body Number distribution Media meeting Open & Warm-up Ride Students Men Group-3A Students Men Group-3B Time Trial (Kids) Opening & Awards Ceremony Lunch Break / circuit close Students Men Group-2 Women (JICF + JCF) Students Men Group-1 (University Team Match) Awards & Closing Ceremony End of Public traffic control

スタート・フィニッシュ地点周辺詳細図 / START & FINISH AREA MAP



大会本部：Race Office at S/F

聖徳記念絵画館正面

スタート・フィニッシュ地点付近テント

開設時間 Hours 08:00-16:00

電話 Tel. 090-2207-2369

最寄りの病院：Nearest Hospital

慶應義塾大学病院 KEIO University Hospital

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地

Tel. 03-3353-1211 (代表)



エアスピード シリーズ

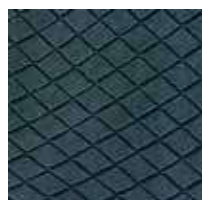
日本ナショナルチームや国内プロチームも採用しているトップモデル



エアスピード ジャージ



エアスピード ビブパンツ



SPEED SENSOR® II

ロードバイクの有効速度域に特化して開発した空気抵抗軽減素材「スピードセンサー® II」風洞実験を繰り返し、レースの速度域で最も空気抵抗の軽減効果が高まる素材を、最も効果的な位置に採用。



3D-X

着用感の少ないフィット感と柔らかなクッション性を両立させた「3D-X」パッド。衝撃のかかる坐骨部分にエラストマーを採用し坐骨の底付を軽減。擦れの原因となるパッド肌面の折れや角をつくらないフラット設計。

パールイズミのオーダーウェア

トップアスリートも着用する高機能素材、発色の良いプリントで、チームの個性を生かしたオリジナルウェアを、パールイズミの専門スタッフが一緒に作り上げます。学生向け特別価格もご用意し、学生サイクリストを応援します。

株式会社パールイズミ オーダーサービス課
〒130-0026 東京都墨田区両国 2-4-2
TEL 03-3633-5461

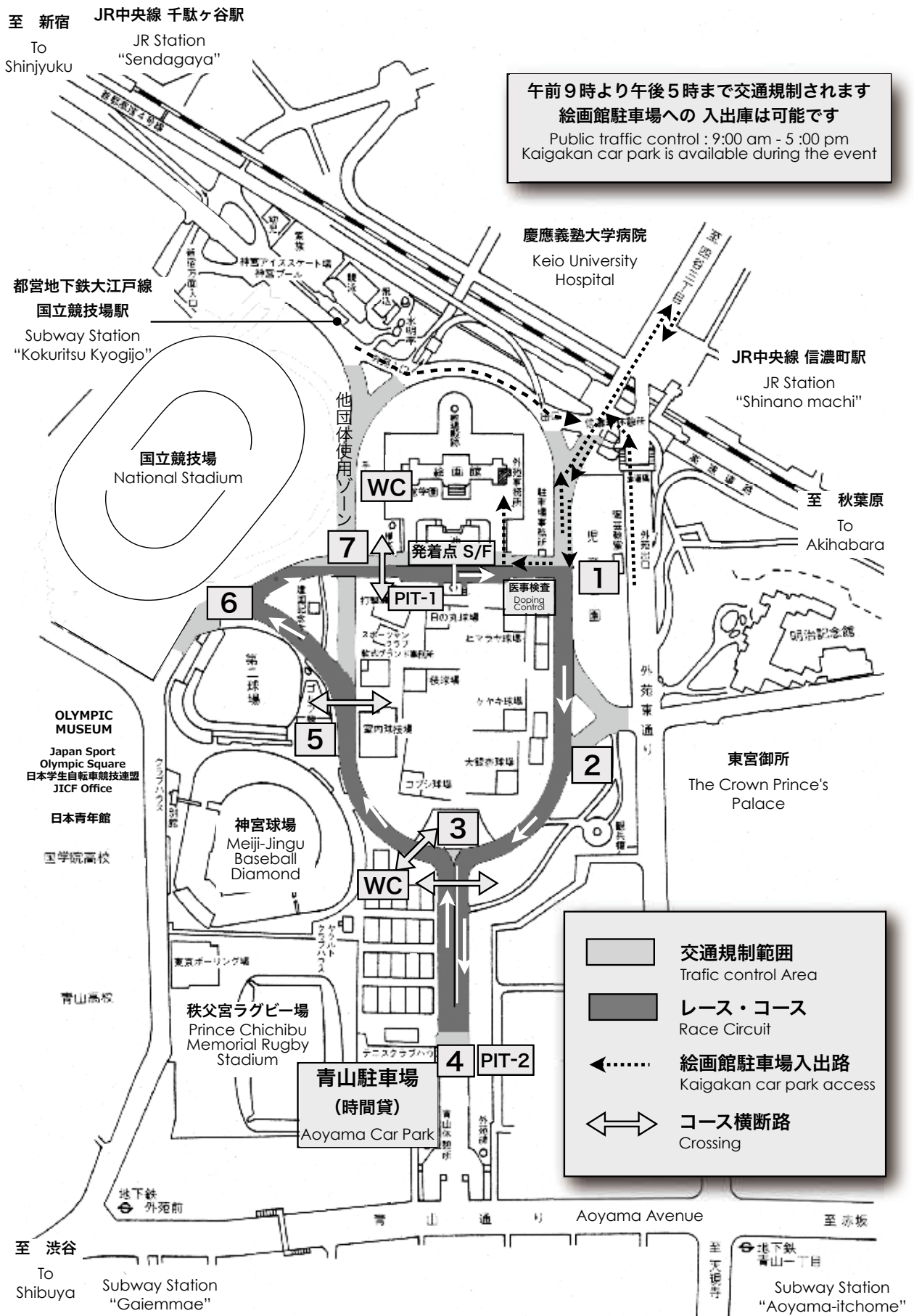


オーダーサービスの
ページはこちら

競技運営組織 / ORGANIZATION STRUCTURE & COMMISSAIRES

大会代表					
大会会長	村岡 功	日本学生自転車競技連盟会長			
大会副会長	井関 康正	日本学生自転車競技連盟副会長			
大会実行委員会					
競技運営委員長	松倉 信裕	日本学生自転車競技連盟理事長			
競技運営副委員長	古賀 岳文	日本学生自転車競技連盟常務理事			
セーフティ・マネージャー	武田 彰	日本学生自転車競技連盟専務理事			
		日本学生自転車競技連盟医事・安全委員会委員長			
総務委員長・総務統括	高橋 錦司				
総務副委員長	三浦 拓郎	日本学生自転車競技連盟理事			
受付・レセプション統括	中川 敏彦	日本学生自転車競技連盟常務理事			
設営・立哨統括	森川 和之	日本学生自転車競技連盟理事			
立哨管理・テント配置設営統括	古賀 岳文	日本学生自転車競技連盟常務理事			
コース設営・フェンスバナー統括	倉田 達樹	日本学生自転車競技連盟理事			
S/F地点設営全般担当	古田 雅拓				
アドバイザー	大脇 恒夫	日本学生自転車競技連盟理事			
映像記録・動画配信統括	十時 隆櫻				
映像記録・動画配信スタッフ	岸本 直樹	石川 莉子	町田 颯		
	井上 凌玖	重田 兼吾	磯野 葵衣		
WEB速報配信統括	菅野 芙由子	岩間 健太			
運営スタッフ(本部)	江澤 翼	大和田 龍之慎	中根 大宝		
	田中 遥香	小畑 海碧			
	日本学生自転車競技連盟学生委員会委員				
競技運営					
チーフ・コミッセール	森川 和之	日本学生自転車競技連盟理事			
フィニッシュ・ジャッジ	倉田 達樹	日本学生自転車競技連盟理事			
モト・コミッセール	大島 環	池内 直人	西沢 倭義		
	石田 正樹	玉木 伸雄			
セクレタリー	小島 裕樹	大脇 恒夫			
通告・音響・解説	芦田 千里 (MC)	高島 陽介 (PA)	寺部 和貴 (PA)		
アシスタント・コミッセール	栗村 修	日本学生自転車競技連盟審判部会			
		東京都自転車競技連盟 (ほか)			
		日本学生自転車競技連盟加盟校 OB・OG・供出学生			
古川 利勝	古賀 岳文	古田 雅拓	佐藤 勝喜	金子 博文	
内田 泰孝	深井 文浩	飯島 慎司	布目 一也	岩田 全弘	
中村 妃智	津島 智泰	藤井 由紀子	小坂橋 彩子	鈴木 克典	
倉橋 弥佳	磯邊 愛一	中桐 堅太郎	服部 伸一朗	南 憲和	
原 憲一	秋郷 真人	長坂 恭子	川澄 玲子	鈴木 木内	
富澤 慶一	中村 太	花田 奈々子	本間 丈夫	鈴宮 石田	
菊地 英	辻本 真	後藤 慶太	米良 直樹	石田 真大	
大蔵 ころ	中田 真	渡邊 慶太	永田 直樹	小高 順(順不同)	
福田 晃司	青木 拓	片岡 遼真			
救護					
大会公式ドクター	金子 稔	安間 久芳			
看護師	鈴木 なつみ	磯邊 愛			
コース・マーシャル(立哨役員)		日本学生自転車競技連盟審判部会			
		日本学生自転車競技連盟加盟校 OB・OG・供出学生			
下平 一貴	小関 創斗	五月女 朝生	松本 波留	宮川 耕太郎	
濱 彩春	吉田 大悟	鈴木 来音	井上 功志	畑下 矜	
西野 菜々子	中川 由理	佐藤 大和	小笠原 光	郡司 夕磯	
松本 昂汰	鳥屋部 航平	大塚 春人	小林 岳央	山下 翔太郎	
亀田 琉斗	沼田 心	重田 夏	古田 陸志	池田 倫之	
小針 惟捺	木村 洋介	杉下 夏菜	南雲 彩花	野島 理紗	
塩野 信梨	小野木 さくら	平石 梨佐	高柳 尚	野藤 尚	
寺田 伊織	小久保 瑠惟	宮崎 太志	田中 翠	白柳 彰一郎	
大槻 由起子	永峯 桃	目黒 徹	美甘 星次郎	石田 明莉	
大野 風貴芽	塩崎 孔明	井上 幸	小川 純平	米田 千紘	
大野 健斗	鈴木 清之介	佐小 美桜	蓮尾 瑚春	川吉 温佳	
源 快王	榊原 健一	小森 悠音	植野 志	徳川 航	
南方 隆司	宮本 奏穂	楠 皓雅	朝見 花	三村 航	
本村 風	足田 雅人	大城 朝海	村上 裕二郎	昼田 駿斗	
後援	新宿区				
	公益財団法人日本自転車競技連盟			(順不同)	
会場設営・警備	株式会社シミズオクト				
協力	明治神宮外苑				
	東京都自転車競技連盟				
協賛	井上ゴム工業株式会社				
	株式会社イノアックコーポレーション				
	株式会社日直商会				
	株式会社パールイズミ				
	株式会社オージーケーカプト				
	株式会社ユニバーサル・フィナンシャル				
	一般財団法人日本自転車普及協会			(順不同)	

コース・規制範囲図 / CIRCUIT PLAN





まもる笑顔は、未来のため。

“すべての人に安全と安心を提供するメーカー”、オージーケーカブトは、子供から大人にいたるまで、ずっとみなさまのパートナーとして親しんでいただける生涯ブランドを目指し、「品質と心質」にこだわり続けます。すべての笑顔を守るために。



Kabuto

テクニカル・ガイド

v20250210

大会日程 2025年2月23日(日) (雨天決行、積雪・路面凍結・荒天の場合中止)
 会場 明治神宮外苑周回コース 1周1.5km (東京都新宿区・港区)
 大会主旨 本大会は、本年度全日本学生ロードレースカップ最終戦としてその総合優勝者を決定し、またクリテリウムにおける大学対抗優勝校を決定する大会である。本大会は2007年2月に首都東京での初めてのクリテリウム大会として開催された「日本学生自転車競技連盟創立70周年記念行事 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会」を発展的に継承し、学生スポーツのメッカである神宮外苑での学生自転車スポーツの振興普及を図るとともに、日本のサイクル・スポーツ全般の振興と東京の都市文化醸成に寄与することを目的としつつ、更に将来学生自転車競技者となる若年層の拡大に向けて、小・中学生の年齢層にサイクル・ロードレースの楽しみを体験する機会を提供することを旨とする。

主催・主管 日本学生自転車競技連盟
 後援 新宿区 公益財団法人日本自転車競技連盟 (順不同)
 会場警備 株式会社シミズオクト
 協力 明治神宮外苑 東京都自転車競技連盟
 協賛 井上ゴム工業株式会社 株式会社イノアックコーポレーション 株式会社日直商会 株式会社パールイズミ 株式会社オージージャケット 株式会社ユニバーサル・フィナンシャル 一般財団法人日本自転車普及協会 (順不同)

競技規則 国際自転車競技連合(UCI)規則、(公財)日本自転車競技連盟競技規則、本大会特別規則による。

競技種目および参加資格

(I) 会場入場者全員共通事項

1-1 本連盟各種ガイドラインを順守し、その遂行に協力し委員・役員等の指示に従うことを参加条件とする。ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、それが故意であるかないかに関わらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一発生した如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、熟慮のうえ参加可否を判断すること。

(II) 小中学生、オープンライド以外の種目の参加資格共通事項

2-1 当該年に有効な JCF (公益財団法人日本自転車競技連盟) 又は UCI 加盟国連盟の登録競技者である事

2-2 (4-1. ~ 4-4. 参加資格共通事項)

- 本連盟加盟校の登録選手で、エントリー時点において、大会当日を含む年度もしくはその前年度に下記の研修を受講済みの者
 - 本連盟主催もしくは認定の座学系研修会(リモート講習含む)を少なくとも2回うち1回以上がアンチドーピング講習であること
 - 本連盟主催もしくは認定の実地系研修会(リアル参加実技)を少なくとも1回両方とも受講していることを参加の必須条件とする。本大会では、大会当日にセーフティライド実地系研修会を実施しない。スタート後に未受講が明らかになった場合には失格とし、そのレースの順位を与えない。参加資格は参加申込時点のクラス区分による。但し参加申込締切後、本大会迄の大会においてクラス3からクラス2に昇格したものは、グループ3で出走することができない。
- なお、女子クリテリウムについては本連盟加盟校の登録選手以外の参加も認めるが、研修会・講習会についての要件をみたとすこと。

(III) 定員を上回った場合の措置

各カテゴリの人数上限を上回る申込みがあった場合、上記研修会参加状況を勘案して参加者を決定する。実地系研修会を1回2点、座学系講習会を1回1点として、直近2年度内ポイント合計による。上記ポイントは、エントリー提出時点で獲得済のもののみがカウントされる。

(IV) 各カテゴリ毎の参加資格要件

- 4-1 大学生男子大学対抗(グループ1) 20周30km 概ね70名以内
- 本年度日本学生自転車競技連盟加盟各校を代表する1校あたり2名から3名までの選手。
 - 日本学生自転車競技連盟ロードカテゴリ1または2の選手に限る。
 - 本連盟が招聘したチーム(海外チーム等)、1チームあたり2名から3名までの選手。
 - グループ1の申込者に正当な理由による欠場者がある場合、当日ゼッケン配布時に、グループ2参加申込者より2名迄の補欠を起用する事ができる。
 - グループ1の参加者は1名のみ、グループ2の参加申込者と交代することができる。その場合、当日のゼッケン配布時に選手交代届を選手受付に提出すること。
 - 選手個人のゼッケン番号は、グループが入れ替わっても、変更しないので注意すること。
 - 選手交代届については、あらかじめ学連HP上に用紙をアップするので、プリントして当日に持参すること。
 - 2名未満のチームは参加するとはできない。当日欠場により2名未満となったチームはグループ2での出走を認めることがある。
- 4-2 大学生男子グループ2 8周12km 概ね100名以内(50名×2組)
 本連盟ロードカテゴリ・クラス1または2の選手。主催者招待によりオープン参加を認める。
- 4-3 大学生男子グループ3 4周6km 概ね80名以内(40名×2組)
 本連盟ロードカテゴリ・クラス3の選手。
- 4-4 女子クリテリウム 8周12km
 (公財)日本自転車競技連盟登録女子競技者で本連盟が参加を認めた者。
- 4-5 小・中学生タイムトライアル 1周1.5km
 小・中学校年齢の児童・生徒で、ヘルメット&グローブ着用・自分の自転車に参加できる者。
- 4-6 パラサイクリング・タイムトライアル 1周1.5km
 本年度(公財)日本自転車競技連盟通年もしくは臨時登録競技者(男女)
- 4-7 マスターズ・タイムトライアル 1周1.5km
 本年度(公財)日本自転車競技連盟通年登録選手(男女)で、開催年1月1日時点で満30歳以上の者。
- 4-8 オープン&ウォームアップ・ライド(レースではありません) 5周7.5km
 ヘルメット&グローブ着用・自分の自転車に参加できる者。および上記各カテゴリに参加するすべての者。

(V) 立哨役員・競技役員、テントの供出

日本学生自転車競技連盟加盟各校については選手数に応じた立哨役員・競技役員と、大会本部用テントの供出を参加のための必要条件とする。

選手数	供出立哨役員数 東京および隣接県の学校	供出立哨役員数 本州以外の学校	供出立哨役員数 左記以外の学校
1	0	0	0
2	1	0	0
3	2	0	1
4	2	0	1
5	3	0	2
6	4	1	2
7以上	選手数の2/3	選手数の1/5	選手数の1/3

いずれの場合も小数点以下は切り上げ

立哨役員は、コース上の指定された箇所(合計約100カ所)に立ち、選手と一般客・歩行者との事故防止その他の安全管理にあたる。立哨役員は審判資格を必ずしも必要としないが、自転車競技に関する経験もしくは理解があり、自転車競技のスピード感や走行特性について体得している当年3月31日時点で満18歳以上の者とする。立哨役員・競技役員には、交通費等は支給されない。供出役員数が3名以上のチームにおいては、そのうち少なくとも1名は公認審判員資格保持者である事。

大会本部用テントの供出

大学対抗に出場する東京・埼玉・千葉・神奈川の学校から各1張。テントの大きさは特に制限しないが、大きめのものを歓迎。供出するテントの大きさ・数を電子メールで事務局に連絡のこと。持参しない場合は1万円のペナルティーを課す。

(VI) 使用できる自転車器材

小・中学生は特に制限しない。他のカテゴリはUCI規則および日本学生自転車競技連盟の規定を順守すること。(特別規則参照のこと)

参加申込

申込期限 1月21日(火) 13:00迄

・2023jicf.rcs.entry@gmail.com宛に所定様式のEXCELシート提出、ライセンスデータ添付

・かつ、別途GOOGLE FORMに記入返信すること。：後日発表

・グループ1は同一期限内にユニフォーム・データ(半袖上半身)も送付すること。

同データは本連盟のユニフォーム登録にあたって提出するユニフォームデータと同じもので、ロード用半袖上半身、なるべくジャージ・メーカー作成のデータを使用のこと

支払期限 1月28日(火) 13:00迄 参加可否を確認後に下記宛振込

振り込み先:長野県労働金庫 諏訪湖支店 普通 9687405 日本学生自転車競技連盟

支払が完了することで参加申込受付完了となる。納入した参加料は理由のいかんに関わらず返却しない。申込後の欠場については、感染対策に鑑みペナルティは課さないが、事前に連絡すること。

参加料 男子大学対抗グループ1

1チーム6万円

その他のカテゴリは本連盟登記大学生 10,000円

小・中学生

1,000円 (新宿区・港区在住もしくは在学の小中学生は500円)

女子オープン

12,000円

マスターズ、パラ・タイムトライアル 各12,000円

オープン&ウォームアップ・ライドのみの参加者は3,000円とする。

参加料には、駐車料金は含まない。

プログラム広告掲載

グループ1参加チームは、プログラム広告(A4版の1/3)を出す事ができる。

・広告原稿締め切り日は1月28日、締切に間に合わない原稿は掲載されない。広告データの作成の注意点:データの仕上がり寸法:仕上がり(高さ80mm×左右170mm)、データの作成アプリケーションと保存方法についてPDF/X-1a:2001形式(Acrobat 4:PDF 1.3)で保存したPDFデータをお願いします。X-1a形式であるかどうかの確認方法は、PDFを開いてファイルからプロパティを選び、カスタムのタブを選ぶと、値のところにPDF/X-1a2001と記載されています。X-1a形式であれば印刷用のデータとなります。もしくはJEPG形式で保存、またはイラストレータのデータで文字アウトラインをかけて、写真やリンクデータは埋め込み、CS6以前のデータで保存してください。イラストレータのデータの場合、バージョンによる不具合の可能性があるため、なるべくX-1aの形式で保存したPDFでご入稿いただくようよろしくお願い申し上げます。

チーム責任者の届出

男子・女子クリテリウムに選手が参加するチームは、事前に、チーム毎の責任者を選任して届出なければならない。この責任者は、チーム選手・スタッフ全員が諸規則・ガイドラインを順守し、指示・連絡事項の伝達を徹底しなければならない。

また、怪我人が出た場合の自チームによる病院への搬送や救急車への同乗に備えた要員を確保しなければならない。

事前チーム代表者会議

2025年2月20日(木)20時より、リモート事前チーム代表者会議を行う。チーム責任者は出席のこと。会議アドレスはエントリーシート記載連絡先に後日連絡する。

大会本部 聖徳記念絵画館正面スタート・フィニッシュ地点付近テント

開設時間 08:00-17:00 電話 090-2207-2369

ライセンス確認および出走者確定・選手受付

大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙提出時に添付すること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。

(小・中学生、オープン&ウォームアップ・ライドは大会申込を以て臨時登録者として扱う)

本部にて、9:00-11:30の間にゼッケンを受取ること。

事故措置

1. 競技中発生した事故について参加者は自ら責任を負う。主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応の事。

2. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入の事。

3. 各選手は、健康保険証を必ず持参すること。

4. 本大会において主催者の加入する傷害保険は死亡時1,000万円、入院・通院の保障は無い。

肖像権

本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じること。

取材申請

メディア関係者が来場される場合、当連盟HPより取材申請書を入手し、大会開催2日前の20時までに取材申請書をメールで事務局宛へ提出ください。また当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、ご協力いただくことを原則とします。なお、状況により来場をお断りする場合がありますのでご理解ください。

司法管轄

本大会への申込みを以て、本大会に関する一切の紛争(裁判所の調停手続を含む)は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意したとみなす。

特別規則

第1条 (安全配慮義務)

参加選手・チーム関係者は、競技規則・諸ガイドラインを順守し、よく整備された自転車に参加すること。

第2条 (チーム代表者会議)

参加チーム代表者は、大会日程・時程表に示された日時に会議(リモート形式)に参加すること。

第3条 (個人順位)

(クリテリウム 男子グループ1、グループ2、女子)

最終周回のフィニッシュラインへの到達順位により順位を決定する。

(クリテリウム 男子グループ3)

テンポレース方式で行う。毎周回にフィニッシュラインを先頭で通過した者に1点を与える。最終回も同様。得点の多いものを優位とし、同点の場合は最終周回着順による。周回獲得者には20点を与える。

(タイムトライアル)

完走タイムにより順位付けを行う。

第4条 (周回獲得、遅れ)

主集団の後尾に追いついた競技者は1周回先行したものとみなし、周回の優位性を認める。原則としてメイン集団より遅れた20名以下の集団の選手は直ちに失格とする。認められる事故による遅れの場合、遅れ集団が20名以上の場合はコミッセールの判断による。競技を中止した選手は、コースから出て、速やかにゼッケンを外すこと。

第5条 (ニュートラリゼーションおよび技術支援)

認められる事故の場合、グループ1は最後の10周、グループ2・女子は4周、グループ3は2周を除き、1周のニュートラリゼーションが認められる。器材修理は、指定されたピット(S/F地点および銀杏通りUターン部)においてのみ認められる。

第6条 (中間スプリント賞)

男子大学生グループ1の5周回目、10周回目、15周回目終了時にフィニッシュラインを1位で通過した者に中間スプリント賞として賞品を与える。また、女子については4周回目終了時にフィニッシュラインを1位で通過した者に同じく中間スプリント賞として賞品を与える。

第7条 (大学対校順位)

大学生男子グループ1に出場の各校における上位者2名の順位合計の少ない学校順。順位合計同等の場合はより上位者を有する学校。

第8条 (RCS ランキング)

本連盟「大会参加基準」に示された RCS ランキングポイント表注記に基づき他のラウンドの倍得点が付与される。グループ1出走者にはクラス1の、グループ2出走者にはクラス2の RCS ランキングポイントを付与する。

https://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2023/04/2023_taikaisankakijun.pdf

第9条 (食料補給)

食料の補給は認めない。

第10条 (自転車およびギア比)

UCI 規則および明確化ガイドを順守のこと。ブレーキレバーの取付角度にも注意のこと。

<https://jicf.or.jp/download/rmcx> 競技のブレーキレバー取付角度の制限/?wpdmid=76190&refresh=65ddfea0c84f21709047456

日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程を順守のこと

https://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2023/05/gakuren_annai20230405.pdf

公道を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする。

クリテリウムにおけるトップギア時のペダル1回転あたり前進距離を10.3m以内に制限する。(通常700cで53*11 迄に相当)

タイムトライアルのユースのギア比はJCF規則による。

本条項は小中学生タイムトライアル・オープンライドには適用しない。

第11条 (無線装置)

競技者はレース中、無線装置の使用を認められない。

第12条 (賞典)

オープン&ウォームアップ・ライド

参加者全員に参加賞 (表彰式はありません)

小中学生タイムトライアル

完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞 (全員表彰台へ)

マスターズ、バラ・タイムトライアル

完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞 (全員表彰台へ)

以下のカテゴリーは上位3位までを対象として準備が整い次第、表彰式を行う。

女子クリテリウム、男子グループ1, 2, 3

優勝者：賞状・賞品、第2-8位：賞状

大学対校順位

優勝校：賞状・賞品、第2-8位：賞状

全日本学生ロードレースカップシリーズ年度総合表彰

年間総合リーダー：リーダージャージ、優勝杯、賞品

大学生男子グループ3各組上位5%は、クラス2に昇格する。大学生男子グループ2各組ならびに大学生男子グループ1に出走したクラス2の選手の最上位者はクラス1に昇格する。

第13条 (環境保護)

ボトル、食料の残り・包装等、固形物は、フィニッシュ地点およびピットにてチーム同僚が回収する場合のみ静かに落とす事が認められる。それ以外の場所でのあらゆる固形物の投げ捨てはコース内・外、レース中・外を問わず、4000円のペナルティを科す。

第14条 (ドーピング・コントロール)

1. 全ての競技会は、ドーピング・コントロール対象大会となる可能性があります。

2. 本競技会参加者 (18歳未満の競技者を含む。以下同じ) は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。

3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html> からダウンロードできます。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。

5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。

6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト

<http://www.playtruejapan.org>にて確認して下さい。

誓約書

大会主催者 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- 1 UCI (国際自転車競技連合)・JCF (日本自転車競技連盟) 規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI規則1.1.004、JCF規則第5条2.(4))
- 2 大会(競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む)における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF規則第5条2.(9) 準用)
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI規則1.1.078)
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI規則1.1.079)
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI規則1.1.080)
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしいれたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCI および自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI規則1.2.079)
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI規則1.2.081)
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI規則1.2.082)

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。

問い合わせ先：日本学生自転車競技連盟

電子メール：jicf@remus.dti.ne.jp (エントリー提出は上述参照) ホームページ：<https://jicf.info/>

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア408

電話 & FAX 03-6804-2329

(電話は原則として毎週水曜19時~21時の間のみの対応となります。本連盟へのお問い合わせは電子メールにてお願いします。)

東日本大震災復興支援

寛仁親王記念ワールドグランプリ国際自転車競技大会ロードレースラウンド

全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ最終戦

明治神宮外苑大学クリテリウム を応援しています

株式会社 **ユニバーサル・フィナンシャル**
UNIVERSAL・FINANCIAL

各種保険のご用命は当社まで

相続・事業承継・TAXプランニング

資産形成・生命保険・ライフプランニング

取扱保険会社

(生命保険)

オリックス生命 朝日生命 ソニー生命 日本生命 はなさく生命 アクサ生命

メットライフ生命 SOMPO ひまわり生命 エヌエヌ生命 FWD生命保険

マニウライフ生命 三井住友海上あいおい生命 明治安田生命 ネオファースト生命

(損害保険)

東京海上日動火災保険 楽天損害保険

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-7-1 椿ビル5F

☎:03-6206-9328 FAX:03-6206-9329

(担当 : 高田信彦 090-1790-9343 E-mail : takada@univ-f.co.jp)

出走者一覧 / START LIST

男子大学生グループ3 A組・B組
GROUP-3-A・B / UNIVERSITY STUDENT-MENA組 11:10 スタート・B組 A組終了後スタート
1.5km×4周=6km

男子大学生グループ3-A組 11:10スタート

ゼッケン	氏名	大学名 (Name of Team)	学年
118	西村 幸陽	筑波大学	2
135	塚田 濯	順天堂大学	4
144	西田 玲遠	順天堂大学	2
155	平井 健三	慶應義塾大学	3
159	高橋 陽輝	慶應義塾大学	2
174	鈴木 龍悟	駒澤大学	1
180	井出 晃太郎	中央大学	3
213	土子 夏輝	東洋大学	3
251	鶴見 健二	日本大学	2
264	片山 悠明	日本大学	1
290	屋口 修治	法政大学	2
303	吉田 唯斗	明治大学	3
312	藤澤 佑成	明治大学	1
341	西川 優太	立教大学	1
354	安井 健二郎	早稲田大学	1
387	江尻 敬介	日本体育大学	2
396	佐藤 旭	日本体育大学	1
561	沼野 蒼祇	同志社大学	1
571	足達 健士郎	明治国際医療大学	1
576	天野 裕稀	立命館大学	5
590	春日 佑太	龍谷大学	1
625	片山 国拓	大阪産業大学	1
644	中元 夢来	関西大学	2
646	森 宥友	関西大学	1

男子大学生グループ3-B組 A組終了後スタート

ゼッケン	氏名	大学名 (Name of Team)	学年
127	中井 陸都	作新学院大学	3
141	鈴木 巧汰郎	順天堂大学	2
147	塩出 優晋	順天堂大学	1
157	阿部 浩大	慶應義塾大学	3
171	大槻 駿介 アラン	駒澤大学	3
179	植松 史弥	中央大学	3
203	長尾 春輝	東京大学	2
217	榎 勇人	東洋大学	1
258	平 寅次郎	日本大学	1
265	渡邊 琉聖	日本大学	1
296	遠山 愛磨	法政大学	1
298	笹瀬 力輝太	法政大学	1
311	本田 音輝	明治大学	2
340	大竹 広高	立教大学	1
343	菅野 佑介	立教大学	1
356	大野 宗哲	早稲田大学	1
393	池田 翔元	日本体育大学	1
431	内田 峻輔	新潟食料農業大学	2
552	前田 大騎	同志社大学	4
568	樋口 源	明治国際医療大学	2
583	八村 勇聖	立命館大学	1
621	永尾 祐一郎	大阪産業大学	2
626	林 慶真	大阪産業大学	1
645	西口 恵唯	関西大学	1

小中学生タイムトライアル
KIDS TIME TRIAL11:40 スタート
1.5km×1周=1.5km

出走順	ゼッケン	氏名	Name	学年	スタート時刻	フィニッシュ	記録(タイム)
1	61	矢野 こはる	YANO, Koharu	小2	11:40:00	: : "	分 秒

男子大学生 グループ2
GROUP-2 / UNIVERSITY STUDENT-MEN13:00 スタート
1.5km×8周=12km

男子大学生 グループ2 13:00スタート

ゼッケン	氏名	大学名 (Name of Team)	学年
119	大関 宙	筑波大学	1
124	榎山 結己	作新学院大学	3
128	生田 楓唯	作新学院大学	3
139	中島 壮琉	順天堂大学	3
142	鈴木 智也	順天堂大学	2
145	川田 翔太	順天堂大学	2
146	市村 颯大	順天堂大学	1
160	南山 航介	慶應義塾大学	2
178	釜田 佳典	中央大学	3
235	新井 敬太	日本大学	3
240	菅野 蒼羅	日本大学	3
246	藤本 怜	日本大学	2
250	本田 稜介	日本大学	2
256	秦 愛希翔	日本大学	1
259	石田 航太	日本大学	1
261	奥村 圭志	日本大学	1
263	松岡 勇斗	日本大学	1
266	峠 龍之介	日本大学	1
270	近藤 浩太	日本大学	1
271	黒澤 響冴	日本大学	1
288	吉野 瑠人	法政大学	2
297	植本 健新	法政大学	1
307	永野 昇海	明治大学	3
308	海老島 卓弥	明治大学	2
310	中川 挺太	明治大学	2

ゼッケン	氏名	大学名 (Name of Team)	学年
314	自檀地 一	明治大学	1
315	辻 洗之介	明治大学	1
351	鈴木 紳之助	早稲田大学	2
353	児玉 誠虎	早稲田大学	1
380	泉 颯太	日本体育大学	3
389	落合 康生	日本体育大学	2
390	小林 海斗	日本体育大学	2
391	新垣 快琉	日本体育大学	2
397	井上 幸洋	日本体育大学	1
440	高橋 壮	新潟食料農業大学	1
472	武田 柊	中京大学	2
476	佐々 鴻士朗	中京大学	1
497	森本 直樹	朝日大学	3
510	鶴久 力	朝日大学	2
556	天野 裕太	同志社大学	2
570	辻 陸翔	明治国際医療大学	1
572	彦坂 拓真	明治国際医療大学	1
577	榎木 啓樹	立命館大学	4
582	塚本 善広	立命館大学	1
640	山口 健士郎	関西大学	3
663	荒井 颯斗	近畿大学	2
688	畑 祐太郎	鹿屋体育大学	1
689	廣田 汰也	鹿屋体育大学	1

女子クリテリウム
WOMEN'S CRITERIUM13:25 スタート
1.5km×8周=12km

ゼッケン	氏名	大学名 (Name of Team)	学年
915	沢登 香里	順天堂大学	4
916	田中 杏奈	順天堂大学	3
917	新沼 杏菜	順天堂大学	1
919	濱口 夕海	法政大学	3
921	相見 涼花	法政大学	1
924	針替 百花	立教大学	1
932	大関 奏音	日本体育大学	2
944	岩元 美佳	鹿屋体育大学	3
945	川本 莉子	鹿屋体育大学	3
948	淵 稟碧	鹿屋体育大学	1

中間スプリント賞 INTERMEDIATE SPRINT	ゼッケン	Name	Name of Team
4周回終了時			



© KINAN Racing Team / Syunsuke FUKUMITSU

一緒につくりあげた、技術力

IRC TIRE
Inoue Rubber Co., Ltd.

二輪タイヤメーカー IRC TIREは、
安心と安全を使命にプロダクトを通じ「駆ける喜び」
「新しい価値」を提供してまいります。

irc-tire.com



アイ・アール・シー 井上ゴム工業株式会社

〈本社〉〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目13-4
〈海外拠点〉北米・中国・東南アジア

Innovation & Action
INOAC

マットレス・住宅用断熱材・自動車部品・保冷輸送機器
「見えないところから暮らしを快適に」
それがイノアックの使命です。

inoac.co.jp



株式会社 **イノアックコーポレーション**

〈本社〉〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目13-4
〈支店〉東京・名古屋・大阪・九州 (営業所) 札幌・東北・浜松・広島
〈海外拠点〉北米・中国・東南アジア 他



小田 凱人 選手



©NTTagami/KLEIN



Photo: Simon Cudby Rider: Collin Timmermans



Photo: Natsumi Shimizu



Photo: BWR Photo Pool

IRC TIREとイノアックはグループ企業です。

男子大学生グループ1 (大学対抗)
GROUP-1 / UNIVERSITY STUDENT-MEN14:00 スタート
1.5km×20周=30km

大学名 (Name of Team)				
ゼッケン	氏名	Name	学年	
早稲田大学				
1	神村 泰輝	KAMIMURA, Taiki	3	
2	大仲 凜功	OHNAKA, Riku	3	
3	山里 一心	YAMASATO, Isshin	2	
鹿屋体育大学				
4	並江 優作	NAMIE, Yusaku	2	
5	杉野 翔一	SUGINO, Shoichi	2	
6	河村 元	KAWAMURA, Hajime	1	
立命館大学				
7	松井 丈治	MATSUI, Joji	3	
8	榊原 健太	SAKAKIBARA, Katsuta	2	
9	中江 真也	NAKAE, Shinya	1	
作新学院大学				
10	阿藤 来夢	ASO, Raimu	2	
11	左田 龍脩	SADA, Ryusuke	3	
12	及川 弘恭	OIKAWA, Hiroyasu	2	
順天堂大学				
13	塩出 皓成	SHIODE, Kousei	4	
14	菅原 聡	SUGAWARA, Satoshi	3	
15	大森 虹亮	OHMORI, Kousuke	2	
学習院大学				
16	西 優斗	Nishi, Yuto	3	
17	加藤 尚達	KATO, Shotatsu	3	
18	欠番			
慶應義塾大学				
19	秋田 圭佑	AKITA, Keisuke	3	
20	長谷川 嘉洋	HASEGAWA, Yoshihiro	2	
21	中谷 研斗	NAKAYA, Kento	2	
駒澤大学				
22	中嶋 力斗	NAKASHIMA, Rikito	4	
23	今本 未悠	IMAMOTO, Miyu	3	
24	欠番			
中央大学				
25	三宅 太生	MIYAKE, Taisei	2	
26	佐藤 后嶺	SATO, Koryo	1	
27	岩月 諒太郎	IWATSUKI, Ryotaro	1	
日本大学				
28	北嶋 桂大	KITASHIMA, Keita	4	
29	阿部 源	ABE, Gen	2	
30	伊 書男	I, Syonan	1	
法政大学				
31	濱田 大空	HAMADA, Taiku	3	
32	木下 寿杜頼	KINOSHITA, Suzunari	1	
33	風間 大和	KAZAMA, Yamato	1	

大学名 (Name of Team)				
ゼッケン	氏名	Name	学年	
明治大学				
34	小泉 響貴	KOIZUMI, Hibiki	3	
35	林原 聖真	HAYASHIBARA, Shoma	3	
36	鈴木 滯	SUZUKI, Rei	2	
立教大学				
37	中島 涉	NAKAJIMA, Ayumi	4	
38	町田 和稀	MACHIDA, Kazuki	2	
39	欠番			
日本体育大学				
40	池田 悠生	IKEDA, Yusei	3	
41	福永 和人	FUKUNAGA, Kazuto	3	
42	青木 駿	AOKI, Shun	2	
新潟食料農業大学				
43	梅津 飛羽	UMETSU, Towa	2	
44	加藤 快介	KATO, Kaisuke	2	
45	欠番			
中京大学				
46	浅野 壺輝	ASANO, Itsuki	2	
47	住吉 晴気	SUMIYOSHI, Haruki	2	
48	鈴木 拓夢	SUZUKI, Hiromu	1	
朝日大学				
49	加藤 弘喜	KATO, Hiroki	3	
50	世古 真太郎	SEKO, Shintaro	3	
51	細川 拓真	HOSOKAWA, Takumi	3	
関西大学				
52	橘 優太	TACHIBANA, Yuta	3	
53	竹内 奨吾	TAKEUCHI, Shogo	2	
54	西村 聡太	NISHIMURA, Souta	2	

中間スプリント賞 INTERMEDIATE SPRINT	ゼッケン	Name	Name of Team
5周回終了時			
10周回終了時			
15周回終了時			

男子大学生グループ1 チームユニフォーム紹介

早稲田大学



2024年度 RCSランキング 1位
神村 泰輝選手所属校

鹿屋体育大学



昨年グループ1
大学対抗順位 1位校

立命館大学



2024年度 RCSランキング 2位
松井 丈治選手所属校

作新学院大学



2024年度 RCSランキング 3位
阿蘇 米夢選手所属校

順天堂大学



学習院大学



慶應義塾大学



駒澤大学



中央大学



日本大学



法政大学



明治大学



立教大学



日本体育大学



新潟食料農業大学



中京大学



朝日大学



関西大学



自転車の日記念行事

5月は自転車月間



サイクルドリーム フェスタ 2025

自転車のイベント開催
楽しいよー♪
裏面を見てね！

入場無料

2025年5月5日 月



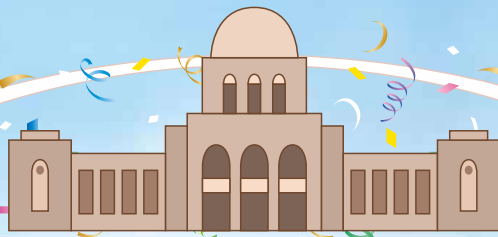
10:00~16:00 荒天中止

明治神宮外苑

聖徳記念絵画館前通り 周辺道路

アクセス

- JR中央・総武線「信濃町」駅 徒歩5分
- 都営地下鉄大江戸線「国立競技場」駅 徒歩5分
- 東京メトロ銀座線「外苑前」駅 徒歩8分



【ステージイベント】
BMXパフォーマンスショー

BMX・MTB
子ども乗り方教室
(定員有)



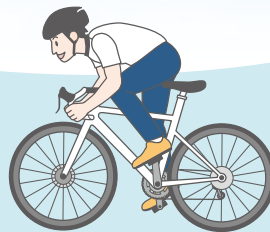
【ステージイベント】
ビーボ君の
自転車交通安全教室



白バイと記念撮影



外周道路でも
試乗ができるよ♪



ミグの
インスタも
見てね！



ミグのインスタ



イメージ
キャラクター

主催：自転車月間推進協議会【事務局（一財）日本自転車普及協会】

後援：自転車活用推進議員連盟／自転車活用推進本部／内閣府／警察庁／消費者庁／総務省／文部科学省／経済産業省／国土交通省／環境省／（予定）東京都／新宿区／（公財）JKA／健康日本21推進全国連絡協議会

協賛：日本ベンダーネット株式会社／ダイドードリンコ株式会社／株式会社オージーケーカプト

協力：（一社）全日本フリースタイルBMX連盟／（一財）日本サイクルスポーツセンター／（公財）日本サイクリング協会／東京サイクリング協会／（特非）自転車活用推進研究会

KEIRIN
競輪の補助事業

このイベントは、競輪の補助を受けて実施します。

<https://jka-cycle.jp>

各大会成績のグループ2、グループ3、小中学生タイムトライアル、マスターズ・クリテリウム他
の結果については、外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください。

<https://gaiencriterion.tokyo/>



第一回大会成績 / RESULTS OF THE 1st EVENT 2007年2月4日(日)

日本学生自転車競技連盟創立70周年記念行事 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位	グループA	グループC	女子
1位 明治大学	1位 湯浅 徹 明治大学	1位 遠藤 邦明 法政大学	1位 和田見里美 中京大学
2位 鹿屋体育大学	2位 角 令央奈 鹿屋体育大学	2位 下冲 功児 慶應義塾大学	2位 石井 寛子 明治大学
3位 法政大学	3位 島田 真琴 法政大学	3位 阿部 力也 日本大学	3位 小淵 千恵 順天堂大学
4位 早稲田大学	グループB	グループD	
5位 日本大学	1位 湯浅 大輔 法政大学	1位 工藤 薫 早稲田大学	
6位 中央大学	2位 我妻 敏 日本大学	2位 大谷 雄貴 東海大学	
7位 中京大学	3位 兼平 純 日本大学	3位 岡林 秀樹 信州大学	

第二回大会成績 / RESULTS OF THE 2nd EVENT 2008年2月11日(祝)

2008年世界大学選手権自転車競技大会代表選手選考大会・日仏交流150周年記念
2007年度全日本学生ロードレースシリーズ最終戦 第二回 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績	グループ1 (大学対抗)	女子
1位 法政大学	1位 辻本 翔太 順天堂大学	1位 湯浅 徹 明治大学	1位 川又 千裕 鹿屋体育大学
2位 鹿屋体育大学	2位 渡辺 将大 中央大学	2位 内間 康平 鹿屋体育大学	2位 戸井 麻里子
3位 早稲田大学	3位 笠原 慶輔 明治大学	3位 青柳 豊輝 法政大学	3位 智野 真央

第三回大会成績 / RESULTS OF THE 3rd EVENT 2009年2月22日(日)

2008年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第三回 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績	グループ1 (大学対抗)	女子
1位 鹿屋体育大学	1位 辻本 翔太 順天堂大学	1位 内間 康平 鹿屋体育大学	1位 荻島 美香 アライレーシング
2位 中央大学	2位 西園 良太 東京大学	2位 吉田 隼人 鹿屋体育大学	2位 近藤 美子 鹿屋体育大学
3位 日本大学	3位 福田 高志 大阪経済大学	3位 窪木 一茂 日本大学	3位 堀 友紀代 Ready Go JAPAN

第四回大会成績 / RESULTS OF THE 4th EVENT 2010年2月21日(日)

2009年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第四回 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績 (門田杯)	グループ1 (大学対抗)	女子
1位 早稲田大学	1位 西園 良太 東京大学	1位 野口 正則 鹿屋体育大学	1位 近藤 美子 鹿屋体育大学
2位 中央大学	2位 堀内 俊介 中央大学	2位 佐々木 龍 早稲田大学	2位 和田見里美 中京大学
3位 鹿屋体育大学	3位 飯野 智行 中央大学	3位 李 成鎬 韓国體育大學校	3位 田中 まい 日本体育大学

第五回大会成績 / RESULTS OF THE 5th EVENT 2011年2月20日(日)

2010年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第五回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績 (門田杯)	グループ1 (大学対抗)	女子
1位 オランダ学生チーム	1位 西園 良太 東京大学	1位 吉田 隼人 鹿屋体育大学	1位 石井 寛子 スパークアスリートラボ
2位 中央大学	2位 笠原 恭輔 中央大学	2位 窪木 一茂 日本大学	2位 近藤 美子 鹿屋体育大学
3位 日本大学	3位 入部 正太郎 早稲田大学	3位 Lars van de Vall オランダ学生チーム	3位 田中 まい 日本体育大学

第六回大会成績 / RESULTS OF THE 6th EVENT 2012年2月19日(日)

2011年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第六回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績 (門田杯)	グループ1 (大学対抗)	女子
1位 日本大学	1位 大中 巧基 早稲田大学	1位 黒枝 士揮 鹿屋体育大学	1位 塚越 さくら 鹿屋体育大学
2位 早稲田大学	2位 入部 正太郎 早稲田大学	2位 窪木 一茂 日本大学	2位 小島 蓉子 日本体育大学
3位 中央大学	3位 山本 隼 中央大学	3位 堀内 俊介 中央大学	3位 古河 麻美 日本体育大学
	3位 安井 雅彦 東京大学		

第七回大会成績 / RESULTS OF THE 7th EVENT 2013年2月17日(日)

2012年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第七回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績 (門田杯)	グループ1 (大学対抗)	女子
1位 鹿屋体育大学	1位 西沢 倭義 明治大学	1位 黒枝 士揮 鹿屋体育大学	1位 上野 みなみ 鹿屋体育大学
2位 順天堂大学	2位 大中 巧基 早稲田大学	2位 西沢 倭義 明治大学	2位 塚越 さくら 鹿屋体育大学
3位 中京大学	3位 佐々木 勇輔 早稲田大学	3位 Lars van de Vall アムステルダム大学	3位 小島 蓉子 日本体育大学

第八回大会成績 / RESULTS OF THE 8th EVENT 2014年2月16日(日)

2013年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第八回 明治神宮外苑大学クリテリウム

※前々日の大雪によるコース上の残雪が非常に多いため試合開催中止。
(ロードレース・カップ・シリーズ総合表彰式、大学自転車フォーラムは実施)

シリーズ戦総合成績 (門田杯)

1位 金井 誠人 明治大学
2位 佐々木 勇輔 早稲田大学
3位 高木 三千也 立教大学

第九回大会成績 / RESULTS OF THE 9th EVENT 2015年3月8日(日)

2014年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第九回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績 (門田杯)	グループ1 (大学対抗)	女子
1位 鹿屋体育大学	1位 相本 祥政 法政大学	1位 橋本 英也 鹿屋体育大学	1位 上野 みなみ 鹿屋体育大学
2位 法政大学	2位 小林 和希 明治大学	2位 荒井 佑太 法政大学	2位 坂口 聖香 日本体育大学
3位 中央大学	3位 高木 三千也 立教大学	3位 小林 泰正 日本体育大学	3位 齋藤 望 日本体育大学

第十回大会成績 / RESULTS OF THE 10th EVENT 2016年3月13日(日)

2015年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第十回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績 (門田杯)	グループ1 (大学対抗)	女子
1位 日本大学	1位 小林 和希 明治大学	1位 岡本 隼 日本大学	1位 岡本 二葉 スミタニイザイ
2位 アムステルダム大学	2位 野本 空 明治大学	2位 Sjors Handgraaf アムステルダム大学	2位 齋藤 望 日本体育大学
3位 早稲田大学	3位 孫崎 大樹 早稲田大学	3位 森口 寛己 日本大学	3位 江藤 里佳子 鹿屋体育大学

第11回大会成績 / RESULTS OF THE 11th EVENT 2017年3月12日(日)

2016年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第11回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績(門田杯)	グループ1(大学対抗)	女子
1位 日本大学	1位 野本 空 明治大学	1位 岡本 隼 日本大学	1位 中井 彩子 鹿屋体育大学
2位 中央大学	2位 石原 悠希 順天堂大学	2位 黒枝 咲哉 鹿屋体育大学	2位 岡本 二葉 日本体育大学
3位 日本体育大学	3位 岡本 隼 日本大学	3位 原井 博斗 中央大学	3位 高田 奈生 鹿屋体育大学

第12回大会成績 / RESULTS OF THE 12th EVENT 2018年3月11日(日)

2017年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第12回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績(門田杯)	グループ1(大学対抗)	女子
1位 アムステルダム大学	1位 岡部 祐太 日本体育大学	1位 Derk Abel Becker アムステルダム大学	1位 橋本 優弥 鹿屋体育大学
2位 中央大学	2位 野本 空 明治大学	2位 渡邊 慶太 明治大学	2位 小泉 夢菜 早稲田大学
3位 明治大学	3位 渡邊 慶太 明治大学	3位 David van Eerd アムステルダム大学	3位 中村 愛花 日本体育大学

第13回大会成績 / RESULTS OF THE 13th EVENT 2019年3月10日(日)

2018年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第13回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績(門田杯)	グループ1(大学対抗)	女子
1位 早稲田大学	1位 孫崎 大樹 早稲田大学	1位 沢田 桂太郎 日本大学	1位 中村 愛花 日本体育大学
2位 日本大学	2位 渡邊 慶太 明治大学	2位 孫崎 大樹 早稲田大学	2位 岡本 二葉 スミタエイダイバールイスマラソン
3位 法政大学	3位 小嶋 健太 日本大学	3位 大前 翔 慶應義塾大学	3位 EmmaChiltem メルボルン大学

第14回大会成績 / RESULTS OF THE 14th EVENT 2020年2月23日(日)

2019年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第14回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績(門田杯)	グループ1(大学対抗)	女子
1位 日本体育大学	1位 鈴木 浩太 明星大学	1位 篠田 幸希 日本体育大学	1位 中村 愛花 日本体育大学
2位 明治大学	2位 風間 翔真 東北学院大学	2位 鈴木 浩太 明星大学	2位 成海 綾香 鹿屋体育大学
3位 明星大学	3位 植益 和行 大阪産業大学	3位 佐藤 健 日本大学	3位 太郎田 水桜 法政大学

第15回大会成績 / RESULTS OF THE 15th EVENT 2021年3月7日(日)

2020年度 第22回全日本学生選手権クリテリウム大会 兼 第15回 明治神宮外苑大学クリテリウム

シリーズ戦総合成績(門田杯)	男子大学生クリテリウム 決勝	女子
新型コロナウイルスの影響により2020年度のシリーズ戦は本大会を含め4回しか開催できず、参加選手も大きく制限されたため、今期については門田杯の対象者は無しとした。	1位 川野 碧己 慶應義塾大学	1位 岩元 杏奈 日本体育大学
	2位 山本 哲央 中央大学	2位 成海 綾香 鹿屋体育大学
	3位 飯屋 和駿 日本大学	3位 石上 夢乃 鹿屋体育大学

第16回大会成績 / RESULTS OF THE 16th EVENT 2022年2月27日(日)

2021年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第16回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績(門田杯)	グループ1(大学対抗)	女子
1位 慶應義塾大学	1位 中島 渉 立教大学	1位 中村 龍吉 中央大学	1位 川口 うらら 日本体育大学
2位 日本大学	2位 飯屋 和駿 日本大学	2位 川野 碧己 慶應義塾大学	2位 岩元 杏奈 日本体育大学
3位 順天堂大学	3位 加藤 遼 東京工業大学	3位 兒島 直樹 日本大学	3位 中島 瞳 川越工業高校

第17回大会成績 / RESULTS OF THE 17th EVENT 2023年2月26日(日)

2022年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第17回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績(門田杯)	グループ1(大学対抗)	女子
1位 日本体育大学	1位 中島 渉 立教大学	1位 西村 行生 慶應義塾大学	1位 阿部 花梨 順天堂大学
2位 立命館大学	2位 篠崎 蒼平 東京大学	2位 小泉 響貴 明治大学	2位 渡部 春雅 明治大学
3位 朝日大学	3位 小泉 響貴 明治大学	3位 北村 翔太 日本体育大学	3位 小林 あかり 信州大学

第18回大会成績 / RESULTS OF THE 18th EVENT 2024年3月10日(日)

2023年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第18回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績(門田杯)	グループ1(大学対抗)	女子
1位 鹿屋体育大学	1位 小泉 響貴 明治大学	1位 渡邊 蓮 朝日大学	1位 菅井 楓 山梨県立笛吹高校 14'35"
2位 早稲田大学	2位 松井 丈治 立命館大学	2位 生田 楓唯 作新学院大学	2位 岩元 美佳 鹿屋体育大学
3位 慶應義塾大学	3位 中島 渉 立教大学	3位 西村 明 東京大学	3位 宮本 奏穂 立命館大学
4位 中央大学	4位 高本 亮太 立命館大学	グループ2A	
5位 明治大学	5位 秋本 圭佑 慶應義塾大学	1位 濱田 大輝 朝日大学	小中学生タイムトライアル(1.5km)
6位 日本体育大学	6位 今本 未悠 駒澤大学	2位 加藤 尚達 学習院大学	中2 小路 裕紀 2分51秒43
7位 順天堂大学	7位 高久 胡太郎 日本体育大学	3位 六川 毅 慶應義塾大学	小6 茂木 陽向 2分47秒35
8位 明星大学	7位 渡邊 和貴 順天堂大学	グループ2B	小5 富永 和彦 3分04秒26
		1位 清水 稜太郎 明治国際医療大学 19'54"	小3 鎌田 晃士 4分00秒64
		2位 津留 峻 鹿屋体育大学	小3 富永 優希 3分48秒73
		3位 大室 佑 中央大学	小1 矢野 こはる 5分02秒60
		グループ2B	マスターズ・タイムトライアル(1.5km)
		1位 中野 楚樂 日本大学 20'31"	矢野 国康 2分37秒42
		2位 新井 敬 日本大学	
		3位 坊 紳 近畿大学	



2024年度 RCSポイント上位者成績一覧（第1戦～第8戦まで）

ランク	氏名	大学名	第1戦 修善寺	第2戦 東近江	第3-1戦 白馬1日目	第3-2戦 白馬2日目	第4戦 大島TT	第5戦 大島HC	第6戦 GCTクリテ	第7戦 行田	第8戦 川島町	ポイント 小計	本大会 最終戦	ポイント 総合計
1	神村 泰輝	早稲田大学	A11 3	A01 30	A07 12	A01 30	A01 30	A03 20	A09 8	A10 6	A07 12	151		
2	松井 丈治	立命館大学	A06 21	A05 16	A01 30	A07 12						79		
3	阿蘇 来夢	作新学院大学			A08 10	A06 14				A02 24	A01 30	78		
4	榊原 健太	立命館大学	A12 3	A07 12	B15 2		B01 20	A02 24		A08 10		71		
5	山里 一心	早稲田大学							A01 30	A01 30	A08 10	70		
6	伊 書男	日本大学			B01 20	A02 24			A12 2	A05 16		62		

成績表のA〇〇はクラス1のみまたはクラス1+2の試合での順位、B〇〇はクラス2のみの試合での順位を表します。順位の下に数字は獲得ポイント数です。

本大会の RCSポイント配点表

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	完走
グループ1	60	48	40	36	32	28	24	20	16	12	4
グループ2	20	16	13	12	11	9	8	7	5	4	2
グループ3	2	以下昇格者		1	0	0	0	0	0	0	0

※広告の掲載順は大学名のアイウエオ順です。



ごきげんよう。

連絡は各種SNSまで

学習院大学自転車同好会

※広告の掲載順は大学名のアイウエオ順です。



第19回
明治神宮外苑大学
クリテリウム

慶應

第15回明治神宮外苑大学クリテリウム優勝
第16回明治神宮外苑大学クリテリウム大学対抗優勝
第17回明治神宮外苑大学クリテリウム優勝
第18回明治神宮外苑大学クリテリウム準優勝



私たちが慶應運動体育会自転車競技部は1902年（明治35年）に創部された歴史ある日本最古の大学自転車競技チームです。ロード・トラック競技双方で、インカレや全日本学生選手権といったトップレベルの大会での入賞を目指しています。創生者の皆さんに向けた情報や受験に関する情報、当部の情報など随時 SNS やホームページで更新中！慶應運動体育会自転車競技部の一員として、大学で競技に打ち込んでみませんか？入部に関するご相談など、お気軽に DM へ。

祝 第19回明治神宮外苑大学クリテリウム

大会の成功と選手の皆様の活躍をお祈りいたします。

日本大学三軒茶屋キャンパス

皆様のご理解とご協力をいただき、2016年4月の開設から9年目を迎え、昨年度から大学院も開設しました。

【危機管理学部】

君が世界を強くする

社会を襲う自然災害や大規模事故、犯罪、テロリズム、戦争・紛争、個人や組織の情報流出など、私たちの生活はさまざまな危機に取り囲まれています。多様な危機から人々の生命や生活を守るため、法学的アプローチを中心に災害マネジメント、パブリックセキュリティ、グローバルセキュリティ、情報セキュリティの視点から、新しい学問である「危機管理学」を学びます。

【スポーツ科学部】

君が世界をアツくする

スポーツ科学部ではコーチング学を中核領域として捉え、自然科学的な領域だけでなく医学や社会科学など幅広い領域を含め「競技スポーツ」に関する理論と実践を総合的に学習します。また、国際大会で活躍した元アスリートや指導者、専門的な研究機関に在籍した経験を有する研究者等、スポーツに関する様々な経験を持つ教員が学習をサポートします。



立教大学

自転車競技部

選手・マネージャー
募集中！

詳細やご相談は HP・各種SNSまで！

公式LINE



Instagram



X (Twitter)



<https://stpaulsbicycle.wixsite.com/rikkyobicycleracing>

スポーツ推薦には、 負けない。

駒澤大学自転車部にはスポーツ推薦はありません。

しかし、自主性を重んじることでこれまで結果を残し続けてきました。

無駄なしがらみ、上下関係ゼロ。自由な環境で自転車競技に打ち込みたい君に。



ご質問等はホームページのお問い合わせフォーム
または、各種SNSのDMまで



加盟校・大会参加選手募集

あなたも母校のユニフォームを着てサイクル・レースを走りませんか？

詳しくは http://jicf.info/about_jicf/kamei_touki/ をご覧ください。

また、「全日本学生ロードレースシリーズ」では加盟前の学生でも参加可能なオープン参加部門を設けている大会も多数あります。同シリーズでは地元の協力により賞品多数。この機会にチャレンジを。

2024年度日本学生自転車競技連盟「賛助会員」募集中

日本学生自転車競技連盟憲章並びに事業の主旨にご賛同頂ける「賛助会員」を募集しております。

入会資格、賛助会費額、入会方法等の詳細につきましては、

本連盟ホームページのサイト <https://jicf.info/18668/> からご確認ください。

尚、会員特典として以下の特典があります。

- (1) 本連盟主催大会会場にお越しの際に、大会プログラムをご用意いたします。
- (2) 本連盟主催大会プログラムへの会員名称の記載をいたします。
- (3) 本連盟が主催する講習会・シンポジウム・セミナー等への優先参加ができます。
- (4) その他諸種の情報サービスの提供を行います。

皆様のご入会をいつでも歓迎いたしますので、本連盟のホームページを一度ご覧ください。

賛助会員一覧

足立 一 真
荒川 和 宏
井関 康 正
井上 由 大
太田 元 徹
木倉 田 豊
倉 田 樹

古賀 岳 文
小林 和 司
佐々木 寛 和
塩出 一 也
瀧浪 勝 也
武田 田 彰

傳野 龍 郎
中西 川 太
長谷 島 敏 彦
古川 川 良 男
細川 川 哲 也
増谷 川 利 勝
子 谷 智 康 大

松倉 信 裕
三浦 拓 郎
宮崎 隆 和
村岡 好 弘
村田 隆 和
森川 好 弘
山崎 好 弘

<法人>

万葉建設株式会社

株式会社 Realize

2024年10月3日現在（敬称略・50音順）

賛助会員の皆様、ご協力ありがとうございます。

JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION

日本学生自転車競技連盟 JICF

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
ジャパンスポーツオリンピックスクエア408

TEL 090-2207-2369 FAX 03-6804-2329

E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>



KASK

UTOPIA Y

INEOS Grenadiers と共同開発した KASK 自慢のロードレース用エアロヘルメットの UTOPIA がマイナーチェンジ。UTOPIA の美点である究極の空力性能と通気性はもちろん UTOPIA Y にも引き継がれています。UTOPIA Y では主に快適性がバージョンアップ。フィット感の向上を保証する超軽量の OCTOFIT+調整システムが導入されました。また、運氣性があり湿気を放散する Resistex Carbon パッドにより快適性も向上しています。機能性と効率を追求したシェルデザインの踊る KASK ロゴは大きく誇らしげで、反射グラフィックの採用で視認性を高める効果もあります。

弊社ブース (KASK/KOO のテント) で UTOPIA Y をはじめとした KASK の各モデル、KOO の各モデルが試着可能です。

UTOPIA Y



FORMULA PRO

これが、チューブレス新基準。

転がるタイヤへの挑戦^{※1}

転がり抵抗

9.97% 減

※1 両モデル700x28C RBCC使用
5代目フォーミュラプロ比/当社ラボ評価による

高耐久、高寿命を追求^{※2}

耐摩耗性

82% 増

※2 タイヤが完全摩耗するまでの時間の比較
5代目フォーミュラプロ比/当社ラボ評価による

Line-up サイズ展開：700 X 25C, 28C, 30C, 32C

RBCC

オールラウンド

全てにおいてバランスのとれた
スタンダードモデル

チューブレス (シーラント不要)



S-LIGHT

世界最軽量クラス

プロチームとの共同開発で生まれた
レーシングモデル

チューブレスレディ



X-GUARD

耐パンク性能抜群

乗り心地とロングライフを
両立したモデル

チューブレス (シーラント不要)

